

教科(科目)	国語（現代の国語）	単位数	2	学年(コース)	1 学年
使用教科書	東京書籍『新編 現代の国語』				
副教材等	尚文出版『常用漢字ダブルクリア』、学研『現代新国語辞典』				

1 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次の通り育成することを目指す。

- 1, 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- 2, 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、伝え合う力を高め、自分の考えを広げたり深めたりすることが出来るようにする。
- 3, 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 指導の重点

多様な生徒の進路希望実現のために、

- 1, 基本的な言語事項の習得を重視し、特に常用漢字の確実な習得を目指します。
- 2, 文章を的確に理解した上で、自分の考えを確立させることを目指します。
- 3, 言葉を通して、積極的に他者とのコミュニケーションを図る態度を育てます。

3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の考えを広げたり深めたりすることが出来るようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

4 評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・ワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・授業中の発言、発表や討論への取り組みの観察 ・ワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業中の発言、発表や討論への取り組みの観察 ・ワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 ・読書への取り組みの観察 などから評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点 「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」 で評価します。 内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。		

5 学習計画

学期	単元名 〈教材名〉	学習活動(指導内容) 〈主な領域〉	時間と 領域		評価方法
1	自己を見つける 〈こそそめスープ〉	・本文を精読し、筆者の思いの変化を読み取る。 ・「こそそめスープのある世界」は筆者にとってどのようなものであるかを理解する。 〈読むこと〉	5	C	ノート ワークシート 発問と応答
	自己を見つける 〈気になるニュースについて話そう〉	・実社会のニュースから伝えたい話題を決め発表メモを作る。 ・班の中でニュースを伝え合う。 〈話すこと・聞くこと〉	5	A	ノート ワークシート 発表の様子
	他者に出会う 〈水の東西〉	・本文を通読し「鹿おどし」と「噴水」の違いを読み取る。 ・本文が日本と西洋の具体例を上げ、分かりやすい文章となっていることを理解し、対比を通して論じていることを押さえる。 〈読むこと〉	6	C	ノート ワークシート 発問と応答
	他者に出会う 〈集めた情報の内容を検討して意見文を書こう〉	・世の中から関心のあることを見つけ、テーマを決める。 ・情報を集め、構成メモを作り、意見文を書く。 〈書くこと〉	6	B	ノート ワークシート 意見文
	定期テスト				
2	世界とつながる 〈りんごのほっぺ〉	・四つの部分に書かれている事柄を要約する。 〈読むこと〉	6	C	ノート 発問と応答
	社会と関わる 〈憧れの職業について調べ、整理してまとめよう〉	・興味のある職業について基本的な情報を調べる。 ・一つの職業に絞り、体験談や本など詳しい情報を集める。 ・情報を取捨選択し、読み手に伝わるように書く。 〈書くこと〉	8	B	ノート ワークシート 意見文
	社会と関わる 〈鍋洗いの日々〉	・本文を通読し、筆者の体験と周囲の変化を読み取る。 〈読むこと〉	3	C	ノート 発問と応答
	言葉と生活 1 〈分かりやすい説明をしよう〉	・「目的意識」「論理性」「相手意識」の観点を理解する。 ・「行事の説明」のロールプレーを行い改善点を話し合う。 〈話すこと・聞くこと〉	5	A	ノート ワークシート 発表の様子
	言葉と生活 2 〈新聞記事を読んで意見文を書こう〉	・新聞記事を五つの観点を意識して通読する。 ・読み取ったことをもとに意見文の内容を考える。 ・構成を考えて意見文を書く。 〈書くこと〉	8	B	ノート ワークシート 意見文
	定期テスト				
3	視野を広げる 〈情報を整理しながら話し合おう〉	・話し合いの種類を理解し、会議の進め方を確認する。 ・「課題」から一つを選び、班に分かれて役割分担する。 ・各班で質疑応答しながら検討事項を整理し、話し合う。 〈話すこと・聞くこと〉	10	A	ノート ワークシート 発表の様子
	世界とつながる 〈読み手のアドバイスを生かして紹介文を書こう〉	・紹介する対象の情報を集め、それを取捨選択する。 ・文章の構成を考え紹介文を書き、互いに読み合う。 ・読み手の意見を聞いて書き直し、清書する。 〈書くこと〉	8	B	ノート ワークシート 意見文
	定期テスト				

計 70 時間 (50分授業)

領域ごとの 授業時数	A 「話すこと・聞くこと」	B 「書くこと」	C 「読むこと」
	20 時間	30 時間	20 時間

6 課題・提出物等

<ul style="list-style-type: none"> ・長期の休みには『常用漢字ダブルクリア』による課題が出され、各学期の最初に課題テストがあります。 ・単元ごとにワークシートや漢字プリントなどを記入し、提出することとなります。 ・考查ごとに授業ノートなどを提出することとなります。
--

7 授業担当者からの一言

<p>「現代の国語」の学習の到達目標は、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を身に付けることです。言葉によって自己を見つめ、他者との関わりを深め、伝え合う力を高めていきましょう。「現代の国語」および「言語文化」で学ぶことは、高校3年間だけでなく、皆さんの生涯にわたる基礎となります。授業では、基礎・基本を大切にするとともに、実際に話したり書いたりする学習活動を通して、応用力を高めていきます。楽しみながら力を伸ばしていきましょう。</p>
--

教科(科目)	国語（言語文化）	単位数	2	学年(コース)	1 学年
使用教科書	東京書籍『新編 言語文化』				
副教材等	尚文出版『常用漢字ダブルクリア』、学研『現代新国語辞典』				

1 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 指導の重点

豊かな人間性を育み、将来社会で役に立つ人材を育てるために、

①社会生活に必要な国語常識の習得を重視し、語彙を増やすことを目指します。

②文章を読み解き、想像する力を伸ばし、他者に伝え合う力を高めることを目指します。

③読書に親しむ態度を育てます。

3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

4 評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・小テスト及び定期考査の分析 ・ワークシート、提出物などの内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・小テスト及び定期考査の分析 ・授業中の発言や話し合いへの取り組みの観察 ・レポートやワークシート、提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析 などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業中の発言や話し合いへの取り組みの観察 ・レポートやワークシート、提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析 などから評価します。
	内容のまとめりごとに、各観点 「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」 で評価します。 内容のまとめりごとの評価規準は授業で説明します。		

5 学習計画

学期	単元名 〈教材名〉	学習活動(指導内容) 〈主な領域〉	時間と 領域		評価方法
1	随筆 生きる喜び 〈さくらさくらさくら〉	・随筆を味わい、桜に対する心情を理解する。 ・短歌の内容と心情について理解する。〈読むこと〉	4	C	ワークシート 応答と発問
	古文入門 古文の世界へ 〈古文に親しむ〉 〈児のそら寝〉	・古文のリズムを味わう。 ・歴史的仮名遣いについて理解し、古文を音読する。 ・説話の面白さを味わう。〈読むこと〉	5	C	ワークシート 応答と発問 テキストの音読
	1 学期中間考査		1	C	定期考査
	小説1 触れ合う心 〈とんかつ〉	・会話や描写に着目し、小説の展開を捉える。 ・登場人物の心情とその変化を読みとる。〈読むこと〉	6	C	ワークシート 応答と発問
	漢文入門 漢文に親しむ 〈訓読の基本〉	・漢文の特色を知り、訓読のきまりを理解する。 ・格言に親しみ、語彙を増やす。〈読むこと〉	5	C	テキストの音読 ワークシート
	1 学期期末考査		1	C	定期考査
2	小説2 葛藤する心 〈羅生門〉	・近代文学の代表作品を味わい、小説の展開を捉える。 ・登場人物の心情の場面を即して読みとる。〈読むこと〉 ・小説の主題について考え、感想文を書く。〈書くこと〉	6	C	ワークシート 感想文 小テスト
	古文入門 古文の世界へ 〈絵仏師良秀〉	・文語の活用について理解する。 ・登場人物の心情を読みとる。〈読むこと〉	2	C	ワークシート 応答と発問
	故事成語 〈守株〉〈五十歩百歩〉	・漢文の世界に親しみ、現代語とのつながりを理解する。 ・故事成語の由来や意味を理解する。〈読むこと〉	3	C	ワークシート 応答と発問
	2 学期中間考査		1	C	定期考査
	随筆 日々の思い 〈徒然草〉 亀山殿の御池に 〈枕草子〉 うつくしきもの	・作者のものの見方、感じ方を捉える。 ・文語助動詞の種類と用法を理解する。 ・作者の主張を読みとり、批評する。〈読むこと〉	7	C	ワークシート 応答と発問 テキストの音読
	漢詩 漢詩を味わう 〈絶句と律詩〉	・漢詩の世界に親しみ、日本文学への影響を考察する。 ・漢詩のきまりと表現の特色を学ぶ。〈読むこと〉 ・表現を工夫して訳詩を書く。〈書くこと〉	5	C	ワークシート 創作課題 テキストの音読
			3	B	
	2 学期期末考査		1	C	定期考査
3	詩歌 うたの心 〈折々のうた〉	・和歌の形式を理解し、読み味わう。 ・詩歌に表れたものの見方、感性を読みとる。〈読むこと〉 ・短歌を創作し、効果的に書く。〈書くこと〉	3	C	ワークシート 創作課題 テキストの音読
			2	B	
	詩歌 命をうたう 短歌・俳句 〈冬が来た〉	・現代短歌・俳句を読み味わう。 ・比喩の効果を理解し、現代詩を味わう。〈読むこと〉	2	C	ワークシート テキストの音読
	物語 古人の生き方 〈伊勢物語〉	・古人の恋のあり方について理解し、歌物語に親しむ。 ・物語の成り立ちについて理解する。〈読むこと〉 ・和歌を自分の言葉で書き換える。〈書くこと〉	4	C	ワークシート 創作課題 テキストの音読
			2	B	
	論語 論語のことはば 〈論語〉	・孔子の思想を理解し、考え方を豊かにする。〈読むこと〉 ・論語を引用して、自己の主張をまとめる。〈書くこと〉	3	C	ワークシート 応答と発問
		1	B		
	学年末考査		1	C	定期考査

計 70 時間 (50分授業)

領域ごとの 授業時数	A 「話すこと・聞くこと」	B 「書くこと」	C 「読むこと」
	0 時間	10 時間	60 時間 古典 40 近代以降 20

6 課題・提出物等

- ・授業で活用するワークシートを提出することとなります。
- ・創作課題や作文なども提出することとなります。
- ・単元ごとに振り返りシートを記入し、提出することとなります。

7 授業担当者からの一言

「言語文化」は、上代から近現代に受け継がれてきた我が国の言語文化への理解を深める科目です。近現代の文学作品と古典作品を主に扱います。様々な作品に触れ、場面や心情を読みとる活動とおして、我が国独特の感性やものの見方、考え方についても理解を深めていきます。また、我が国の言語文化の担い手として、創作課題にも取り組みます。様々な活動とおして、言葉を学ぶ楽しさ、喜びを味わいながら、言葉がもつ価値への認識を深めていくことを目指します。授業では、基礎を大切にしながら、皆さんの読む力、書く力を高めていきます。生涯にわたって言葉をとおして社会と関わる姿勢を身に付けましょう！

教科(科目)	国語（論理国語）	単位数	2	学年(コース)	2 学年
使用教科書	三省堂『新 論理国語』				
副教材等	尚文出版『常用漢字ダブルクリア』、学研『現代新国語辞典』				

1 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次の通り育成することを目指す。

- 1, 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- 2, 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- 3, 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 指導の重点

多様な生徒の進路希望実現のために、

- 1, 基本的な言語事項の習得を重視し、特に常用漢字の確実な習得を目指します。
- 2, 文章を的確に理解した上で、自分の考えを確立させ、効果的に表現することを目指します。
- 3, 言葉を通して、積極的に他者とのコミュニケーションを図る態度を育てます。

3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	学習の見通しをもって、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、進んで読書に親しみ、自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

4 評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・ワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・授業中の発言、発表や討論への取り組みの観察 ・ワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業中の発言、発表や討論への取り組みの観察 ・ワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 ・読書への取り組みの観察 などから評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点 「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」 で評価します。 内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。		

5 学習計画

学期	単元名 〈教材名〉	学習活動(指導内容) 〈主な領域〉	時間と 領域		評価方法
1	論点を整理するために 〈自分を捉え直す〉	・筆者が「人間には、いくつもの顔がある。—私たちは、このことをまず肯定しよう」と述べるのはなぜか、理解する。 ・「分人はすべて『本当の自分』である」とはどういうことか、読み取る。〈読むこと〉	7	B	ノート・ワークシート 定期テスト 発問と応答
	論点を整理するために 〈情報を整理する〉	・伝えたいことを明確にして、目的や意図に応じた適切な情報を収集する。 ・情報を整理して、自分の考えを表出する。 〈書くこと〉	4	A	ノート・ワークシート 要約文
	正しく推論するために 〈世界のありかた〉	・筆者が「ハサミ」の例を通して主張していることを読み取る。 ・筆者が「世界像」という言葉を用いているのはなぜか、理解する。 〈読むこと〉	7	B	ノート・ワークシート 定期テスト 発問と応答
	正しく推論するために 〈文章をリフォームする〉	・文章を修正し、より伝わるものにする。 〈書くこと〉	4	A	ノート・ワークシート 意見文
2	事例の意味を探るために 〈女性/男性だから〇〇〉	・筆者の指摘する「異質平等論」の問題点を整理する。 ・筆者の考える「自由」とはどのようなものか、読み取る。 〈読むこと〉	7	B	ノート・ワークシート 定期テスト 発問と応答
	事例の意味を探るために 〈意見を書く〉	・伝えたい内容の中心が明確になるよう、文章の構成や明確さを意識して意見をまとめる。 ・助言をふまえ、自分の文章の良い点や改善点を見いだす。 〈書くこと〉	5	A	ノート・ワークシート 意見文
	構成を吟味し説得力を高めるために 〈落語の中の経済学〉	・笑いのポイントは何か、筆者の考えを読み取る。 ・「交換」により得をするという筆者の考えを理解する。 〈読むこと〉	7	B	ノート・ワークシート 定期テスト 発問と応答
	構成を吟味し説得力を高めるために 〈ホンモノのおカネの作り方〉	・「預かり手形」が金貨の代わりになる理由を理解する。 ・「ホンモノのおカネを作る」には何が必要か指摘する。 〈読むこと〉	7	B	ノート・ワークシート 定期テスト 発問と応答
	構成を吟味し説得力を高めるために 〈レポートを書く〉	・情報を整理し、伝えたい内容を明確にして、レポートを書く。 ・レポートの構成を理解して、効果的に伝わるようにする。 〈書くこと〉	4	A	ノート・ワークシート レポート
3	信頼性を吟味するために 〈なぜ私たちは労働するのか〉	・「受験勉強とバイトという二種類の『ワーク』の経験から導きだした労働観」とはどのようなものか理解する。 ・筆者の考える「労働の本質」とはどういうことか、まとめる。 〈読むこと〉	5	B	ノート・ワークシート 定期テスト 発問と応答
	信頼性を吟味するために 〈投書を書く〉	・主張を支える論拠として情報の妥当性や信頼性を吟味し、投書を書く。 ・読み手にわかりやすい表現の工夫をまとめる。 〈書くこと〉	4	A	ノート・ワークシート 意見文
	隠れた前提を探すために 〈誰かの靴を履いてみること〉	・「誰かの靴を履いてみること」が表すことを読み取る。 ・「息子」との会話が本文にもたらす効果を理解する。 〈読むこと〉	5	B	ノート・ワークシート 定期テスト 発問と応答
	隠れた前提を探すために 〈レビューを書く〉	・レビューについて知る。 ・伝えたい情報を整理して、身近な事柄をレビューする。 〈書くこと〉	4	A	ノート・ワークシート レビュー

計 70 時間 (50分授業)

領域ごとの 授業時数	A 「書くこと」	B 「読むこと」
	25 時間	45 時間

6 課題・提出物等

- ・長期の休みには『常用漢字ダブルクリア』による課題が出され、各学期の最初に課題テストがあります。
- ・単元ごとにワークシートや漢字プリントなどを記入し、提出することとなります。
- ・考查ごとに授業ノートなどを提出することとなります。

7 授業担当者からの一言

「論理国語」の学習の到達目標は、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を身に付けることです。言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、さまざまな文章を読むことにより言語感覚を磨き、他者との関わりの中で、伝え合う力を高めていきましょう。

令和5年度シラバス（国語） 学番31 新潟県立阿賀野高等学校

教科(科目)	国語（文学国語）	単位数	2	学年(コース)	2学年（教養コース）
使用教科書	桐原書店『探求 文学国語』				
副教材等	尚文出版「常用漢字ダブルクリア四訂版」学研「現代新国語辞典」				

1 学習目標

<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <p>1, 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>2, 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>3, 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>

2 指導の重点

<p>多様な生徒の進路希望実現のために、</p> <p>1, 基本的な言語事項の習得を重視し、特に常用漢字の確実な習得を目指します。</p> <p>2, 文章を的確に理解した上で、自分の考えを確立させることを目指します。</p> <p>3, 考えを元に創造し、読書によって自身の感性を磨く自主的な態度を育てます。</p>
--

3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

4 評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<p>以上の観点を踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーテストの分析 ・ワークシート、作品、提出物などの内容の確認 <p>などから評価します。</p>	<p>以上の観点を踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーテストの分析 ・授業中の発言、創作への取り組みの観察 ・ワークシート、作品、提出物などの内容の確認 <p>などから評価します。</p>	<p>以上の観点を踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の発言、創作への取り組みの観察 ・ワークシート、作品、提出物などの内容の確認 ・読書への取り組みの観察 <p>などから評価します。</p>
評価方法	<p>内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。</p> <p>内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。</p>		

5 学習計画

学期	単元名 〈教材名〉	学習活動(指導内容) 〈主な領域〉	時間と 領域		評価方法
1	小説Ⅰ 〈ランドセル〉	・心理描写や人物の造型に着目しながら、小説を読む基本的な方法を習得する。 ・作品の読み解きを通じて自身の人生を振り返り、考える。 〈読むこと〉	5	B	ノート ワークシート 定期考査
	活動のプロセス1 〈本を紹介する〉	・本の魅力が伝わるように、紹介文を作成する。 ・紹介者の発表を聞き、自分の読書の幅を広げる。 〈書くこと〉	5	A	ノート ワークシート 発表の様子
	小説Ⅰ 〈途中下車〉	・登場人物どうしの関係性や作品の時代背景に着目しながら、小説を読む基本的な方法を習得する。 〈読むこと〉	6	B	ノート ワークシート 定期考査
	文学評論Ⅰ 〈もののふの心一言葉とコトバ〉	・用語の使い分けや引用文の用いられ方に注意しながら、評論の内容を的確に捉える。 ・文学の基盤となる言葉の働きについて、自身の考えを深める。 〈読むこと〉	6	B	ノート ワークシート 定期考査
2	小説Ⅱ 〈山月記〉	・登場人物の行動や心理を的確に把握しながら内容を理解する。 ・人間の存在についての考えを深める。 〈読むこと〉	10	B	ノート ワークシート 定期考査
	活動のプロセス2 〈古典作品を翻案する〉	・今まで読んできた古典作品の中から一つを選ぶ。 ・現代語訳を参考にしながら、新しい作品のテーマを決める。 ・登場人物を設定し、リアリティーを追求しながら書く。 〈書くこと〉	6	A	ノート ワークシート 作品
	詩 〈天景・猫〉 〈永訣の朝〉 〈サーカス〉 〈ふと〉	・詩を読む基本的な方法を習得する。 ・詩の言葉がいかに多彩で変化に満ちたものであるかを理解し、自身の言語力を高め、ものの見方を深める。 〈読むこと〉	8	B	ノート ワークシート 定期考査
	随想 〈自分を解釈してもらおう喜び〉	・理知的な筆致で書かれた随想を読んで、筆者のものの見方・考え方を理解する。 ・個性やコミュニケーションのありようについて、自身の考えを深める。 〈読むこと〉	6	B	ノート ワークシート 定期考査
3	戦争と人間 〈靴の話〉	・戦地での極限体験を描いた小説を読み、戦時における人間の心を読み取る。 ・戦争が人生に及ぼす影響を、自身に引き寄せて考える。 〈読むこと〉	9	B	ノート ワークシート 定期考査
	短歌 〈短歌八首〉 〈短歌を作る〉	・短歌という短詩型文学の特質を理解し、それらの作品を読み味わう。 ・自身の感性や観念の拡充・深化を図り、短歌の実作に生かす。 ・日頃の生活の中で感じたり考えたりしたことを短い言葉で表現する力を養う。 〈書くこと〉	9	A	ノート ワークシート 作品

計 70 時間 (50分授業)

領域ごとの 授業時数	A 「書くこと」		B 「読むこと」	
	20	時間	50	時間

6 課題・提出物等

- ・単元ごとにワークシートや漢字プリント、意見文や作品を完成させ、提出することとなります。
- ・考査ごとに授業ノートなどを提出することとなります。

7 授業担当者からの一言

「文学国語」の学習の到達目標は、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を身に付けることです。言葉によって自己を表現する力を高めていきましょう。また、読書は一生の友です。図書館を大いに活用して下さい。